

皆さん、新年明けましておめでとうございます。こうしてまた皆さんの元気な顔を見ることができて、とてもうれしいです。今日から3学期が始まります。3学期は短い、ホントに短い。でもとても大事、ホントに大事な学期です。なぜ大事か。それは、2学期の終業式でお話しました。「あきらめずに」、がんばってください。

さて、これも2学期の終業式でお話したように、生徒や保護者の皆さんにご協力いただいた学校教育自己診断の結果について、報告します。詳しくは、来週17日（金）にお渡しするプリントを見てください。全体にどの項目も数字が向上していて、うれしく思います。その中で一番上昇したのが、「自分の希望する進路実現のために必要な学力が身についている。」と考えている人が、昨年度は47%でしたが、今回は61%に上昇しました。「学校の規則を、きっちり守っている」と答えてくれた人も、84%から、さらに88%に上昇しました。「緑風冠へ入学して良かったと思う」人も、68%から70%にと、少しですが上昇しました。私はこの数字を100%にしたい。そのためにも皆さんが活き活きと活動できる、「生徒が主役」の学校づくりをさらに進めていきたいと思います。

1月6日（月）に部活動交流会を行いました。昨年度までは、豚汁やお菓子、ジュースを飲みながら、語り合いましたが、今年は、生徒会執行部の皆さんの提案で、「餅つき大会」を行いました。私は、餅つき歴50年です。この12月30日にも、一人で5臼つきました。それだけに、餅つきの苦労は良く分かっているつもりです。準備として前日からもち米を水につけたり、杵や臼などの道具を運び、またつき終わった餅はすぐに丸めて、あんこやきな粉などをつけなければなりません。これらのことを皆さんは、立派に実行してくれました。それだけにつきたてのお餅の美味しさは、格別だったことでしょう。とてもいい取組みをしてくれたと思えます。このように皆さんに意見を取り入れたり、アンケートの結果も踏まえながら、緑風冠をもっと「いい学校」にしていきたいと思えます。

今日は、ホントに寒い。でも確実に春は近づいています。12月22日は冬至で、一番日照時間が短い日でした。もう冬至を過ぎていきますので、一日一日、日が長くなります。夕方学校から帰る際、西側の正門を出るときに、「あれ、今日はなんだか、昨日より明るくなっているな。」と、感じることでしょ。私は、寒い中にも春の訪れを感じる今の季節が好きです。昨年度の同じ3学期の始業式で、こんな問題を出しました。2年生、3年生は覚えていますか。「冬至を過ぎ、日が少しずつ長くなって春の訪れを感じること。」を表す四字熟語は、何でしょうか。答えは「一陽来復」でしたね。漢字で書けますか。さて今年は、古文からの問題です。「冬来たりなば、春遠からじ。」ということわざがあります。この中の「冬来たりなば」の「な」は、助動詞です。何という助動詞で、活用形は何でしょうか。答えは、次にお配りする「緑風通信」に載せますので、良く考えてください。ちなみにこのことわざは、イギリスの詩の一節 “If winter comes , can spring be far behind ?” の和訳だそうです。校長先生の話をしっかり聞いていると、古文も英語も力がつきますよ。

最後に3年生に、次の言葉を贈ります。「有終の美を飾る」「立つ鳥、後を濁さず」2月28日、良い卒業式にしましょう。1年生、2年生、いよいよ皆さんが「緑風の柱」となる時が来ました。皆さんにすばらしい春が訪れることを願って、私のあいさつを終わります。